

第4章 投資・財政計画

下水道事業は、下水道施設の健全性を維持することが安定した汚水処理を行うための前提条件となります。一方で、健全性を維持するための投資には多額の費用が必要となるため、「投資試算」（整備等にかかる投資の見通し）と「財源試算」（使用料収入等の財源の見通し）を均衡させることが、持続可能な下水道事業を実現するうえで非常に重要となります。

【これまでの主な経費削減の取り組み】

- 幹線ルートや処理分区の見直しによる整備の効率化
- 共同企業体^{注18}による入札（発注事務や工事共通費等の削減）
- 小口径マンホール採用、マンホールポンプ^{注19}の設置等の低コスト手法の導入
- ICT^{注20}を活用した下水道管情報の提供
- 水道料金と下水道使用料の収納事務等の共同処理

これまで本市では、投資及び財政に関する課題に対応するため、上記のような取り組みを実施することにより経費削減を行ってきました。

今後も経費削減の取り組みは継続していきますが、本市の下水道事業を取り巻く環境は厳しく、将来にわたって安定的に事業を継続するためには、投資の合理化（事業運営にかかる経常的な経費の更なる削減等）や財源見直し（水洗化率の向上に向けた施策を行うことによる使用料収入の増加等）により経営基盤の強化と財政マネジメントの向上を図ります。

注18 共同企業体：建設企業が単独で受注及び施工を行う通常の場合とは異なり、複数の建設企業が一つの建設工事を受注、施工することを目的として形成する事業組織体のこと。

注19 マンホールポンプ：下水道は勾配を利用した自然流下により汚水を下水道処理場まで流入しており、汚水の流入が自然流下だけでは困難な場合の、ポンプアップにより自然流下を補完する役割を担う施設。

注20 ICT：Information and Communication Technology の略で情報通信技術のこと。

(3) 動力費に関する事項

マンホールポンプは、省電力機器への切替えや電力契約自由化を活用し、廉価な料金提供を行う電力会社への契約変更を検討するなど動力費削減をめざします。

(4) 修繕費に関する事項

江南市公共下水道事業計画^{注25}等に基づき、計画的な修繕を実施します。また、予防保全を行うことにより修繕費の平準化・削減をめざします。

(5) 加入促進への取り組みに関する事項

生活雑排水による水質汚濁を防止するため、下水道未接続者への戸別訪問を実施し、接続工事費に対する融資あっせん制度等各種補助制度の更なる周知に努めます。また、加入促進訪問台帳の状況を整理するためのデータベースを構築し、未接続者の情報を把握することで、より効率的な戸別訪問を行います。戸別訪問結果を踏まえ、接続できない理由の分析等を行い、その分析結果を今後の加入促進事業に反映させ、効率的な啓発を行うことで水洗化率の向上をめざします。

(6) 使用料等の適切な徴収に関する事項

使用料や受益者負担金^{注26}等は、各種法令等を遵守し徴収漏れや誤徴収等が発生しないよう徴収事務にあたり、また、滞納者への滞納整理事務を適切に行うことで、収納率の向上をめざします。

^{注25} 江南市公共下水道事業計画：江南市公共下水道事業基本計画で定められた区域のうち、5～7年間のうちに整備を実施する区域等を定める計画。下水道施設の点検方法・頻度についても記載されている。

^{注26} 受益者負担金：下水道施設の整備に要する費用の一部に充てるため、下水道が整備されることによって便益を受ける土地の所有者等に負担してもらうもの。